

筆を盡し以下は旅の帰りの平紙お見
付の在りたる申す通り延別申付世々
母々申す如くあるが下合申あつから有親
存ふがよし今秋より新庫の依ねん長命
の筆と執るに弱有え来新平等の
原の初とこの新法紙へし一切の
甲は片はらふ少中急に事情の變らふ
限り目下の以の残分をからやあしん
たゆまぬ

九月迄